

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3633 生活科の内容・構成 [1]			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜2限				
教室	H402教室				
代表教員	薄田 太一				
担当教員	薄田 太一				
テーマと到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の目標及び内容など、学習指導要領にそって教科の特質を学びその意義を理解する。 生活科に関わる活動を通して、生活科の気付きについて感覚的に捉えることができるようにするとともに、それらの質を高める指導法を学びとる。 生活科の実践に何が求められているのかを考えながら生活科をとらえる。 				
概要	学習指導要領に記載されている生活科の9項目の学習内容についての理解を深め、教科書等を活用しながら想定される活動や体験をとらえる。それらを踏まえて、身近な環境を活かした指導計画を立案し実際の活動や体験を行う。その過程において、気付きや問いを交流したりしながら自らの体験を豊かにするとともに、生活科における気付きについての理解を深め、それらの質を高める教師の指導のあり方を体得する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	これからの生活科の学習でどのような力を育てる必要があるのかについて学ぶ				対面授業
第3回	スタートカリキュラムを意識した指導のあり方について、実践例をもとに学ぶ				対面授業
第4回	生活科の学習内容(1)～(4)について、活動や体験を考える				対面授業
第5回	生活科の学習内容(5)～(9)について、活動や体験を考える				対面授業
第6回	生活科と主体的・対話的で深い学び①				対面授業
第7回	生活科と主体的・対話的で深い学び②				対面授業
第8回	授業実践の事例研究(1年生)①				対面授業
第9回	授業実践の事例研究(1年生)②				対面授業
第10回	授業実践の事例研究(1年生)③				対面授業
第11回	授業実践の事例研究(2年生)①				対面授業
第12回	授業実践の事例研究(2年生)②				対面授業
第13回	授業実践の事例研究(2年生)③				対面授業
第14回	生活科で育つ資質・能力について考える				対面授業
第15回	改めて生活科の意義を問い、意見交流をする				対面授業
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> 授業時のコメントペーパーや課題提出 70% 最終レポート 30% レポートの提出は必須とする。 				
履修にあたっての留意事項	初回授業時に本授業の履修及びスケジュールについてのガイダンスを行う。授業内容に応じて、レポートや課題等を課すことがある。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	文部科学省『小学校学習指導要領解説【生活編】』（平成29年告示）	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に適宜指示する	参考文献(ISBN)	